

第6回懇談会の主な意見等

【校舎配置等について】

＜I型について＞

1. 工事中に新旧体育館を使え、運動できる場所が確保される点が良い。
2. 南側の世帯に対して圧迫感がある。
3. 1年～3年まで教室が並んでおり、学年経営がうまくできるか疑問がある。
4. 休み時間に全学年が狭い廊下に一齐にできることは安全面などの点から現実感に乏しい。

＜L型について＞

1. 現在と同じ形なので、近隣の方々への影響が少なく良い。
2. 職員室がグラウンドに面しているという点で安全性が高い。
3. 工期が短いのが良い。
4. 校庭が南側を向いているという点が良い。
5. 給食の運び出しと片づけが錯綜せずにスムーズにできる。
6. 様々な問題を抱えた子どもたちが、他の生徒とも接触もなく入っていけるなど、動線も考えて造られている。
7. L型の方が曲がることで逃げ場がある点、心の課題を抱えた生徒には良いのではないか。
8. 学年ごとの一体感を醸成することができて、住みかのような場所を確保できる点が良い。
9. L型になった場合、体育館を校庭の方に持って行ってほしい。
10. 昇降口がゆったりしており、校庭を広くするため、工夫の余地はないか。
11. 給食室は、食育等の観点から生徒が見えるような工夫をしてほしい。

【プールについて】

＜プールあり＞

1. 毎年先生が時間を組んで、年間で時数をつくっていく労力、負担の大きさは、水質管理・安全管理とは比べものにならないくらい大変なのではないか。
2. 民間施設の場合、恒久的に使用はできるのか。
3. 自分の学校の中にプールがあることで、うれしく思ったことがある。建設費用にそれほど大きな差がないことも考慮すると、学校にプールがあって良いのではないか。
4. 災害のときは水が大事である。プールを作らない場合、ピットを整備し、水を入れるとしてもプールは必要。

<プールなし>

1. 屋外プールは使用期間が短く、無駄が多い。通年で使用できる温水プールを作らないのであれば、外部のプールを使ったほうが良い。
2. 外部の専門インストラクターに教えてもらった方が生徒にとっても良いのではないか。
3. 屋外プールのデメリットは、子どもが熱中症になること。見学する生徒も熱中症になりそうになることがある。
4. 屋上のプールは暑いとの声を聞く。

【その他】

1. 長い時間使用する子どもと先生方が過ごしやすい校舎というのが良い。
2. もっと生徒や教職員の意見を聞いてほしい。
3. 南側には、桜の木があり、思い出となっているため、植栽を残してほしい。そのための歩道状空気を折衝してほしい。